

## 石教研専門部会 第二次研究協議会 事務職員部会レポート構成

1. はじめに-----	P 2
2. 組織構成-----	P 2
3. 研究主題（テーマ）と研究内容について-----	P 2
(1) 研究主題-----	P 2
(2) 研究内容-----	P 2
4. これまでの活動状況-----	P 2
5. 1年間の取り組み報告-----	P 3
【取り組み報告1】市配分予算の配分調整に関する取り組み-----	P 3
【取り組み報告2】予算要望書作成に関わっての取り組み-----	P 6
【取り組み報告3】PFシートの取り組み-----	P 10
【取り組み報告4】就学援助制度に関する取り組み-----	P 10
【取り組み報告5】実践交流の取り組み 予算公開実験「予算編成の提案及び関連する事務運営計画」---	P 12
6. 学校間連携の成果と課題-----	P 12
<参考資料1～9>-----	P 14～21

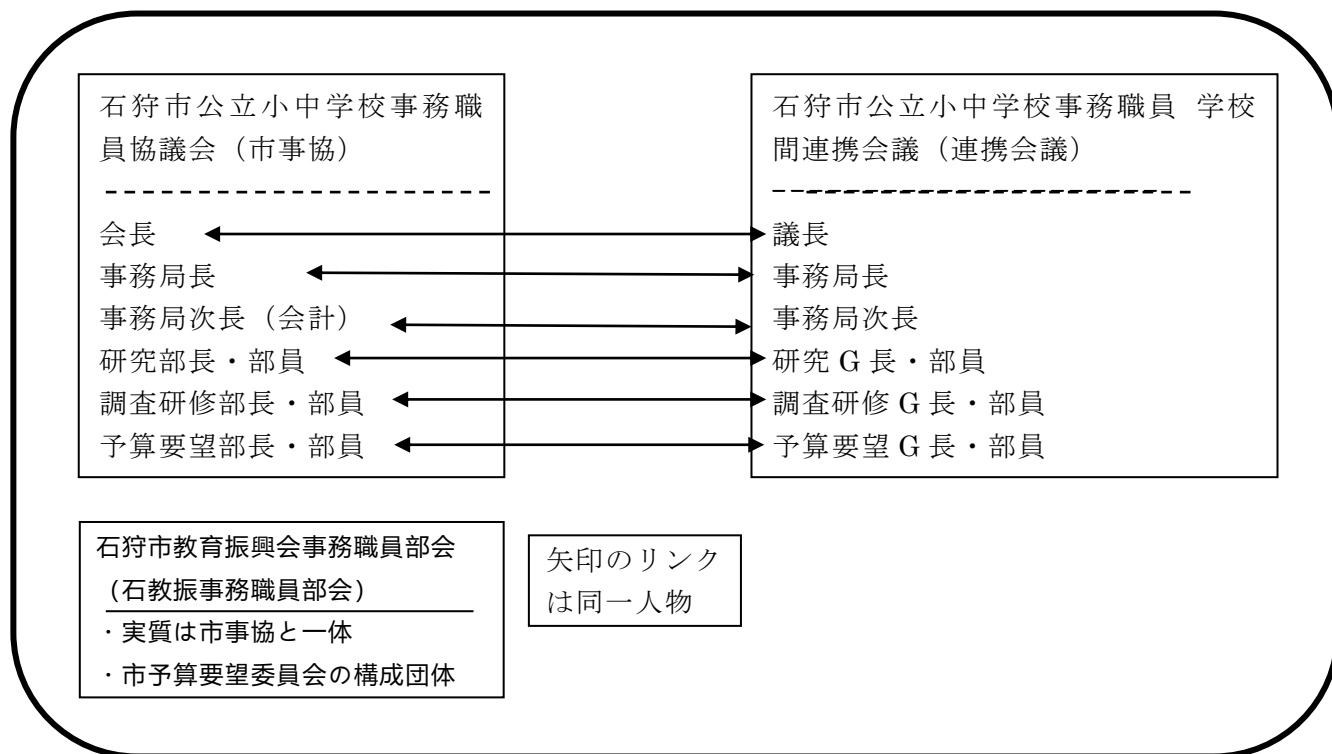
※過去の学校間連携会議の取り組みについてはウェブページに掲載しています。

## 1. はじめに

今年度の石狩市は、昨年度の課題と成果をもとに計画を立て実践を行ってきました。それが今回のレポートの土台となっています。当然年度の途中なので計画の道半ばのものも多くありますが、会員みんなで協力して実践を続けています。

その舵取り役が石狩市学校間連携会議です。

## 2. 組織構成



## 3. 研究主題（テーマ）と研究内容について

### （1）研究主題

子どもの学習権を保障する創造的学校の展開 ～「学校間連携」の取り組みをとおして～

### （2）研究内容

各部（研究・調査研修・予算要望）で研究主題に沿った研究内容を立案の上、活動しています。

※これまでの連携会議の内容については、連携会議ウェブサイト内「会議資料」をご覧ください。「石狩 連携会議」で検索

## 4. これまでの活動状況

### （1）定例会・連携会議の開催状況

石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議（連携会議）は、石狩市公立小中学校事務職員協議会（市事協）の定例会（そのうちの一部は石狩教育振興会学校事務部会として開催）の設定日に合わせて開催しています。（一般に会議日の前半は定例会、後半は連携会議）

市事協の定例会では、主に対外機関（市教委、石事協等）や各部（研究・調査研修・予算要望）からの連絡・報告事項の確認や事例交流等を行い、その後の連携会議では連携会議事務局で検討を進めたい事項に関わる調査・分析を行っています。

実践課題の検証や取り組みの確認など、研究活動の大半は学校間連携の取り組みをとおして行われています。

## （2）連携会議の活動の柱

2018 年度 連携会議の活動の柱は 3 点です。



- 1, 子どもの学ぶ権利の保障
- 2, 生活の場としての学校づくり
- 3, 市内各校事務職員が連携して取り組む（学校事務の確立のため）

具体的には以下の点を意識していきます。

- ① 学校財政と学校事務の状況調査
  - ・学校徴収金調査及び予算公開実験、学校事務業務実態
- ② 提言について
  - ・重要な課題等必要のある事項について「提言」を行う
- ③ 予算要望について
  - ・石協振事務部会の委託業務として予算要望に関わる活動
- ④ 実践交流
  - ・学校財政財務活動の一環として予算編成の交流

活動の柱の具体的取り組みについて、連携会議ウェブサイト内（<http://irenkei.sub.jp/>）に掲載しています。

## 5. 1年間の取り組み報告

### （1）【取り組み報告1】市配分予算の配分調整に関する取り組み

#### ア) 取り組みの経過

石狩市の学校配分予算は、2015 年度から各校の配分調整要望にもとづき配分されています。

配分調整とは

市教委が一定の基準にもとづき機械的に配分していた学校予算を、**配分総額**が変わらない範囲内において学校の計画に基づいて**節・細節の額**を調整できるようにしたものです。

2014年2月の第49回会議で、郵券料における学校間配分調整の話題をきっかけに、配分予算の増額は極めて厳しいという認識が支配する中で、どうすれば学校にとって有効な予算配分となるか考えた結果、市教委に対し配分調整の実施を打診した。

石狩市教育委員会からは「節間あるいは細節間での予算の流用はできないが、総枠を超えない範囲でこれらの配分額を変えることは可能」との見解が出された（当時の担当者の努力に寄るところも大きい）。

2014年10月に連携会議事務局が各校毎に増やしたい予算と減らしてもよい予算を集約。会議の場で各校の調整内容を確認の上、市教委へ提出（最終的に21校中19校が要望）。

2015年度当初予算は各校の要望通りの配分がなされ、今まで満度に執行できなかった費目を他の費目に振り替えることができ、より予算を有効に執行できるようになった。

配分調整を始めるにあたって

### 配分調整の確認事項

1, 予算増額が基本

2, 少ない予算の中での効率的運用のために行う

3, 配分調整で変更を求める学校が少数の場合全体確認をする

配分調整によってどのように予算運用されたか？

☆配分調整を行うことによって細節によって使い切れない予算を不足しがちな部門にまわしてより効率的な予算運用ができようになってきた。

☆その後、使用用途が限定されていたPCソフト予算（10万円程度）も配分調整に含まれるようになり、より効率的な予算運用ができるようになった。

☆配分調整開始以降財政基盤強化としての役割を大きく担っている。

### イ) 今年度のとりくみ

2017～2018年度予算配分に向けても連携事務局で配分調整の集約を実施。その内容について連携会議で交流を持った。

□4年目を迎え各校も工夫した配分調整を行うことが出来るようになってきた。

□意見交流の中で一つの細節分の予算を0にして他の細節にまわすということも可能だが（例えば修繕費を不要として全額消耗品費に乗せる、など）、何のために必要か具体的に説明できるよう次

年度以降のことも考え、計画的に行う必要があることが共通理解された。（図表参照）

（市内学校配分調整の例）

平成29年度配分予算			平成30年度配分予算希望			
節	細節	金額	節	細節	金額	増減
需要費	消耗品費	1,660	需要費	消耗品費	1,701	41
	印刷製本費	30		印刷製本費	9	-21
	食糧費	5		食糧費	5	0
	備品修繕料	20		備品修繕料	0	-20
役務費	通信運搬費	70	役務費	通信運搬費	70	0
	手数料	27		手数料	27	0
備品購入費	庁用器具費	134	備品購入費	庁用器具費	134	0
合計		1,946	合計		1,946	0
特記事項記入欄 ↓						
次年度以降本校では特色ある学校運営を目指すべく、ICT機器関連でデジタル教科書を整備していきます。しかし内部操作だけでは限界があります。 どんな形でもいいので増額してほしい。						

エ) 成果と課題

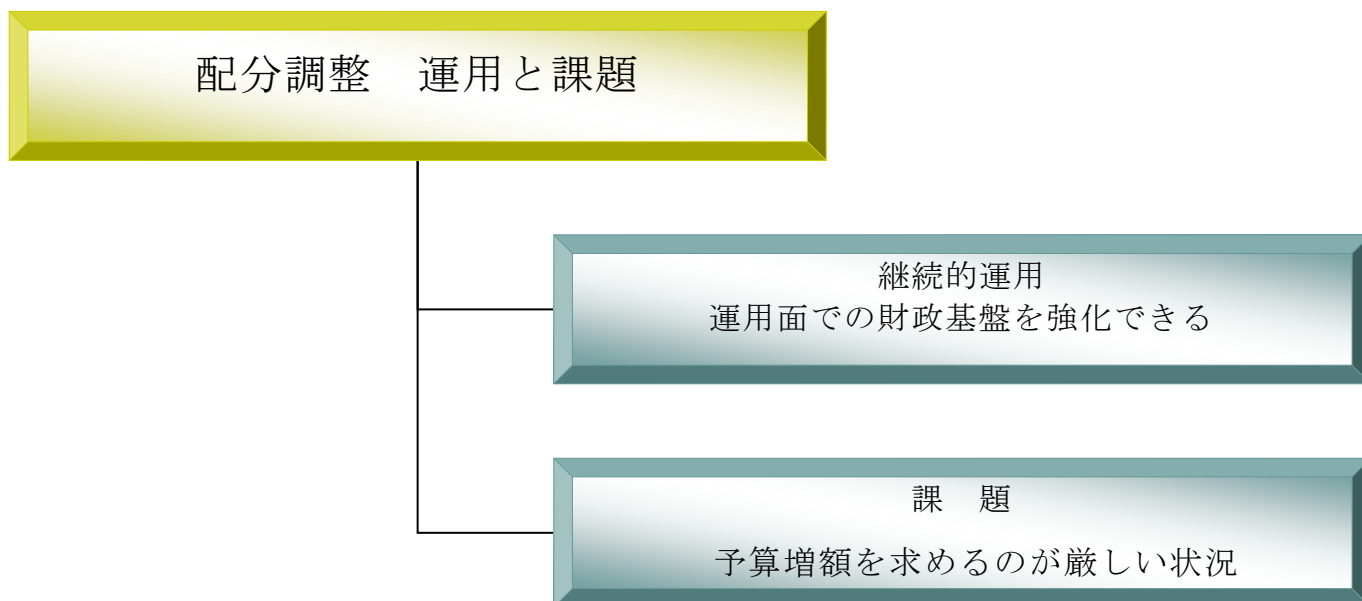
配分調整はあくまで目先の運用であることを意識しなければなりません。

近年の予算要望では、管理運営消耗費の増額はかなり厳しいと言わざるを得ないでしょう。

国や地方が新たな政策に基づいて、なおかつ予算の裏付けがある場合に予算増額の可能性が出てくる状況です。（第三次教育振興計画 図書整備計画等）

このような状況下だからこそ、配分予算調整が苦肉の策として登場し、運用上の財政基盤強化の役割をしています。

今後、管理運営費消耗費の増額を勝ち取るには、国の政策にあった予算措置がされているような項目を見逃さず、予算要望委員会と教育委員会が協力体制をとりながら推し進める必要があります。



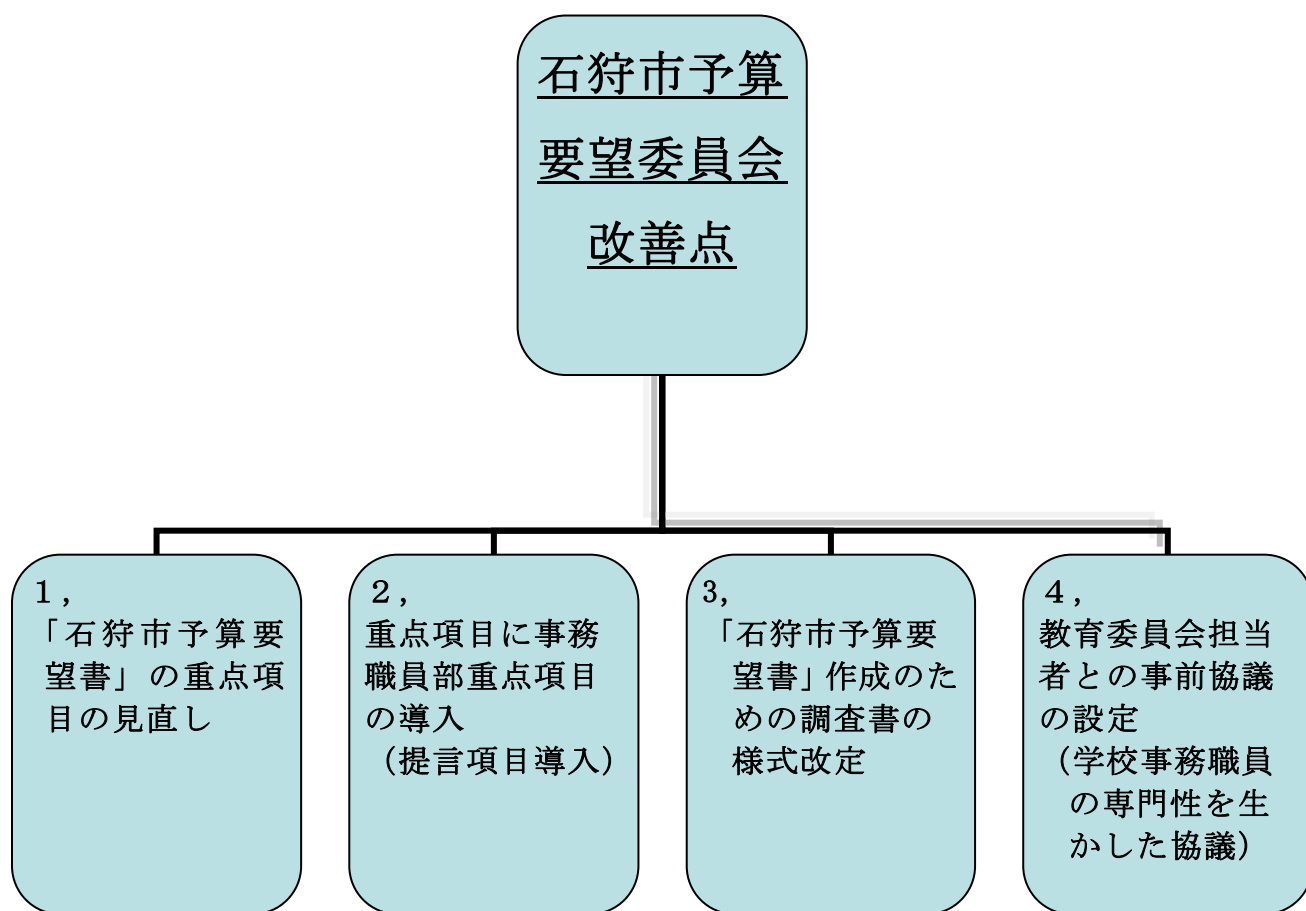
**（2） 【取り組み報告 2】 予算要望委員会関係強化と予算要望書の作成に関わっての取り組み**

**ア) 取り組みの経過（重要観点 2 点からの取り組み）**

**I、財政基盤強化のための「石狩市予算要望委員会」との協力協働体制の再構築**

- ・石狩市には「予算要望委員会」が存在します。ただし運用は形骸化され、その組織的運用を十分発揮できない状況でありました。（重点項目の精査、修正はここ数年されていない。すでに改正された教育目標等がそのまま使用されている等）

そこで財政財務分野での専門性をもつ事務職員が中心となって以下の点を改善しました。



上記 4 点の改善に成功し運用しています。

特に今年度重点項目に、事務職員部門の 2 点を取り込みができたのは大変大きなことです。

これを契機に、財政財務分野での専門性の高い事務職員の意向が反映された予算要望書が作成されていくことが重要であります。

**2 つの重点項目**

- 1, 学力テストや教材購入等、保護者負担軽減のための予算措置  
(主に夏季休業中の「夏休み帳」の公費負担や長期休業中の課題の提供など)
- 2, 「学校における働き方改革」推進のために  
(主に長期休業中の各教室のワックスがけの人員配置とそれに伴う予算措置)

ただしこれはあくまで「保護者負担の公費化」に向けた一つの方策であります。

## II、各機関関連 学校配分予算に関する要望での予算要望強化

I, では組織マネジメント改善の報告でしたが、ここでは従来から行っている事務職員の専門性を生かした「石狩市教育予算要望書」を作成するための取り組みです。

夏季研修会もふくめ精力的な議論をし、そこで集計したデータの検討を十分行い「石狩市予算要望書」に反映している。

### イ) 検討・交流の観点

今年度の取り組みは以下の 8 点

- |  |         |
|--|---------|
| <u>1. 各学校における印刷関連経費の前年度実績を数値化し要望。</u>  | ⇒参考資料 2 |
| <u>2. 「教材費」の保護者負担調査を行い、公費化要望の資料とした。</u>  | ⇒参考資料 3 |
| ○昨年度までは各校により並び方がバラバラ→①テスト、②ワーク・ドリル、<br>③実験実習費、④学級活動用、⑤その他に統一<br>※新たに夏・冬休みに行うワーク類が私費負担で購入されている実態も |         |
| <u>3. 学校図書館（学校図書館司書配置校）に伴う経費の増額要望。</u>   | ⇒参考資料 4 |
| <u>4. ブラスバンド楽器に係る要望について（中学校ブラスバンド設置校）</u>  | ⇒参考資料 5 |
| <u>5. スキー学習バス代保護者負担軽減（公費措置）に関する要望について</u>  | ⇒参考資料 6 |
| 2018 年度より  |         |
| <u>6. 外国語科目・外国語活動の導入に伴う必要経費（小学校）</u>   | ⇒参考資料 7 |
| <u>7. 学習指導要領全面改定に伴う教科書採択に関わる必要経費調査</u>   | ⇒参考資料 8 |
| <u>8. 市内小中学校児童生徒一人当たりの配分予算の推移資料を作成。</u>  | ⇒参考資料 9 |

今年度新たな取り組みとして 2 点

6、外国語科目・外国語活動の導入に伴う必要経費（小学校）

7、学習指導要領全面改定に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

上記事項課題のデータを収集し資料化し協議をする。

## ウ) 具体的作業（調査内容の確認と検討について）

項 目	実 践 内 容	○メリット ●デメリット	課題と今後の展開
1, 印刷関連経費の対比と数値化 参考資料 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷関連経費の実績の経年変化を一覧表にしてグラフ化。印刷経費の実情を可視化している。</li> <li>プリントフリーの採用校の拡大が財政基盤強化のあしがかりとなる。 (20校中15校(検討中1校))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○解りやすい</li> <li>○昨年度初めて平均値が50%を割る</li> <li>●70%の大台1校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配分調整で具体的な配分項目がなくなり、消耗費の増額要求がより困難になり今後の要望方法に工夫が必要となる。</li> <li>印刷経費がすべての学校で50%以下になるように継続要望することが重要。</li> </ul>
2, 教材費の保護者負担調査を行い予算要望資料とする。 参考資料 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年度より教材費全項目において調査。</li> <li>2018年度も調査継続。</li> <li>共通項目の設定による予算要望書での重点化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予算要望書が市議会で活用され就学援助学用品支出時期を早めるきっかけとなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査していく段階で夏休み帳の購入経費の増加という新たな課題への対処が必要となる。</li> <li>上記事項に関する提言が行われ、今年度はその提言を石狩市予算要望書の重点要望に加えることとなる。</li> </ul>
3, 学校図書館に伴う経費の増額要望 参考資料 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度より軽費の予算配分継続化</li> <li>配置学校図書館司書からの必要経費調査の継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2016年度から小学校に図書館司書常設校が増加</li> <li>○2018年度より中学校で巡回図書館司書配置される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校で常設でない学校があるので、早期の常設化を要望する。</li> <li>中学校でも早い段階での常設化を要望する。</li> </ul>
4, ブラスバンド楽器に関わる予算要望 参考資料 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラスバンド活動充実化のために楽器整備5カ年計画を作成</li> <li>2016年度より予算措置が始まる。</li> <li>一部太鼓部に対応できるよう予算要望書に付加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2016年度より中学校2校に予算措置</li> <li>○2018年度も2校に予算措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器現有金額の10%を楽器修繕料・調整料として継続要望。</li> <li>一部太鼓部に柔軟に対応できるよう要望事項として付加する。</li> </ul>



5, スキー学習バス代保護者負担軽減（公費化） 参考資料 6	・各行事に係るバス代補助を含めた調査。スキーバス代の個人負担が毎年増加傾向にあることが調査で判明。	○スキー授業バス代補助限度額の上限をあげる ○スクールバスの利用が可能	・日程調整によって市内各種行事にスクールバスを利用することが可能となっているがその継続要望。
6, 小学校における外国語教育活動の充実 参考資料 7	・小学校外国語教育の移行処置に伴う経費の調査や、完全実施時に必要とされる教材等の調査を行う。	●移行時に英語教室を開設している学校は、その開設に当たり教材整備等の負担を強いられている。	・ICT 関連機器の要望が非常に多く、第三次教育振興計画と関連しながら予算要望を進めていく必要がある。 重要な取り組みの一つとして認識
7, 教科書採択における予算措置 参考資料 8	・石狩市では教科書改訂時には、特別予算として 10 万円程度の予算措置がされている。 ・予算措置の調査結果では、ICT 教育機器やデジタル教科書の予算措置など、他市町村ではもうすでに推し進められている教育整備についての要望が強いことが伺われる。		・第三次教育振興整備計画により予算が交付税化され財源補償があり、それに伴い ICT 教育機器の整備を進めていかなくてはならない ・従来通りの予算措置では十分な整備が成されないことを継続的に呼びかけてことが重要である
8, 児童生徒一人当たりの配分予算の推移資料を作成 参考資料 9	・2011 年度より市内各校の配分予算や児童生徒数を調査。 ・この調査を活用して 2016 年度要望に、児童生徒一人当たりの配分予算の推移について、数値・資料化。 ・2017 年度以降、教育委員会担当者にわかりやすいように、資料を可視化	○市内全校での比較をすることによって、現在抱えている財政上の課題を明確化することができた。	・委員会担当者はこの資料の可視化を非常に高く評価しており、財政課との交渉資料に大いに役にたった話していることから今後継続的に実践を行っていく必要がある。

## エ) 今後の展望

- ・予算要望委員会との連携強化等を含め、予算要望は保護者負担軽減(公費化)の根幹をなすものであり、今後も最も重点として取り組む必要があります。

**（3） 【取り組み報告 3】 PF シートの取り組みと交流について****参考資料 1**

## ア) 取り組みの経過

2017 年度より保護者負担公費化（軽減）のために、市内共通のシートで各学校の財政状況を把握することや、出てきたデータを各学校の担当者が説明することで自らの学校の状況のとらえ返しをし、公費化に向けての項目の洗い出しを協議しました。

2018 年度も夏季研修会を利用して協議を継続しました。

夏季研修会では、小グループに分かれて意見交流を行い、再度自校の財政状況を確認して、他校の予算状況を比較することによって公費化への情報共有に努めました

## 石狩市版 PF シート

PF シートは・・・

保護者負担調査と呼ばれるもので、保護者が負担する学校での必要経費をデータ化したもので、石狩市は全道協議会の PF シートに以下の改良を加えました。

- 1, グラフを省略して公費と私費の総額対象に絞る。
- 2, 2つのグラフに反映させる項目を組み替える。
- 3, 項目の見直し
- 4, 新しい項目の設定
  - ①、11番目の「見学・修学旅行」に12番「見学・修学旅行（クラス班別）」を加える
  - ② その他項目・説明書きをよりわかりやすい説明を加える。
  - ③ 別シートに「自校の保護者負担の現状に係わる課題と改善点」と「PFシートを入力して困ったこと改善点」の記述を加える。

## ア) 取り組みの経過

・昨年度より PF シートの効率的な活用という観点のもと、**石狩市版 PF シート**を作成し交流を深めてきました。

今年度は自分の学校の PF シートの昨年度との比較を行い、また他校との比較で課題を見つけ協議しました。

（夏季研修会グループ討議）

## イ) 取り組みの成果と課題

・自校にとどまらず他校との比較によって、保護者が負担している経費の**情報を共有**することができたことがとても重要なことであった。

・今後どの分野で保護者負担の軽費を公費化するか、全体像のイメージを作ることのきっかけとなった。

・このような一連の協議は、事務職員の OJT の役割を果たすこととなった。

**（4） 【取り組み報告 4】 就学援助制度に関する取り組みについて**

## ア) これまでの経過

・石狩市の就学援助電算システムが 2015 年度より更新されることになった。

・学用品費の一部学校長口座払いに関する取り組みと**就学援助事務のマニュアル改正作業**をすすめてきた。

・2016 年度より学用品費の学校長払いがスタートし、12 月には新しいマニュアルが完成する

- ・就学援助制度改正（生徒会費・部活動費支給開始）とともに改訂版の必要性が高くなり、その後教育委員会と協議し 2018 年度には改訂版が完成する。

（石狩市連携会議 HP に UP されている）

#### イ) 学用品費の一部学校長口座払いの取り組み

- ・初年度の 2016 年度については市内で 5 校がこの制度を利用して学用品費の一部学校長口座払いを実施。
- ・連携会議ではこの 5 校を対象に「学用品の引き去りに関する調査」を実施。結果について冬季研修会（2017 年 1 月）で交流を行う。交流で明らかになった点は以下の通り。
- ・未納問題が学校運営に支障きたしている学校 6 校のみの問題としてとらえられている。
- ・教育委員会への対象項目の報告や保護者へのお知らせなどの手続きが付加されることの負担
- ・児童生徒一人あたりの未納額を減らすことはできるが、未納人数を減らすことには必ずしもつながらないこと
- ・利用した 5 校についても、その対象項目は各学校の教材費徴収額や内容によって異なっており、統一された対応とは必ずしもなっていないこと、
- ・2018 年度は 6 校となり委任払いは継続して行っている。
- ・これらの調査結果をもとに各校が利用しやすく、事務作業が少なくなるように今後教育委員会と協議をすすめていかななくてはならない。

#### ウ) 取り組みの成果

- ・事務マニュアル改訂版も作成され、今後も継続して教育委員会との連携で迅速かつ正確に就学援助事務を遂行する。
- ・学用品費の学校長払いは、手続き作業の効率化も含めた今後の課題も多いが、就学援助家庭の未納が多い学校にとっては、この制度の運用はとても重要である。

#### エ) 今後の展望

- ・石狩市においても、2017 年度からクラブ活動費の支給が開始。
- ・市内の協議会や連携会議からの要請、石事協の取り組みにより管内的に支給する市町村が増加したことから、石狩市も支給に動いたのでは？
- ・対象の範囲（例えば各部で独自に集めている活動費やバス代なども含まれるのか）や申請の際の証拠書類など、定かでない部分も多く、対象生徒の不利益にならないよう取り組む必要がある。
- ・2018 年度予算措置から正式に「新入学学用品費の前倒し支給」が開始される。支給時期のミスマッチについては徐々に解消されてきている。

#### □石狩市の 2018 年度までの変更点の概要

項 目	内 容	支給額・時期	改正年度
新入学児童生徒学用品費の増額	小学校 20,470 円 中学校 23,550 円	40,600 円 47,400 円	2017 年度～
新入学児童生徒学用品費の前倒し支給	小学 6 年時に認定を受けている者(2 月 1 日現在) について、翌年度の支	2 月中に支給。	2018 年度～

	給の前倒。		
PTA	小学校 中学校	2, 000 2, 200	2014 年度～
生徒会費	中学校のみ	1, 000	2016 年度～
部活動費	部費負担のある中学生に対して年間 7,400 円を上限とし 3 月末に支給。部活動を行っていないが協力費として負担がある生徒についても支給の対象。	7, 400 (上限)	2017 年度～
アレルギーに係る管理指導表文書料の支給	食物アレルギーに係る給食対応に伴い、医療機関で学校へ提出する管理指導表の交付を受ける際に必要となる文書料。		2017 年度～

#### (5) 【取り組み報告 5】実践交流～予算公開実験「予算編成の提案及び関連する事務運営計画」

##### ア) 取り組みの経過

- ・昨年度まで 3 年間「実践交流シート」で各校の実践交流を行ってきた。
- ・配分予算、学校徴収金の見直しや保護者向け事務だよりを使った予算の周知など、数多くの実践が紹介され、可視化されることで他校にもよい刺激となった。
- ・2017 年度以降は「**予算編成の提案及び関連する事務運営計画**」というタイトルで実践交流。
- ・これまで、学校予算をウェブサイトで公開することを検討してきた。
- ・2016 年度「予算公開実験」という名称で取り組むこととした。
- ・2017 年度ようやく予算公開実験と銘打って、学校予算のウェブ公開に踏み切ることができた。
- ・新採用者を迎え、財政財務活動の実践を繋いでいく観点。
- ・事務運営計画の中で予算編成の基本方針を示した上での予算編成となっているか。
- ・学校運営全般に亘り配慮された予算となっているか。
- ・配分予算だけでなく、補助金等も関連づけた予算編成となっているか。

##### イ) 具体的取り組み

- ・会議毎に 1 校ずつ報告し、意見交流としている。

##### ウ) 成果と課題

- ・他校の実践を見ることにより自校の財政財務活動に生かすことができる。
- ・新採用者にとっても OJT 的な役割を果たすことが期待される。

□過去のは連携会議HP「実践交流」に収録されていますので、ご覧ください。

<http://irenkei.sub.jp/jissen/newpage3.html>

## 6. 学校間連携の成果と課題

### (1) 成果

- ・石狩の連携会議も 14 年目を迎え、年間スケジュールが概ね定着してきており、活動計画を立てやすくなってきている。ウェブサイト過去の議案や資料が整理され、取り組み経過についても確認しやすくなっている。

- ・夏季・冬季研修会を開催（主催は市事協）し、集中論議の場として成果を上げている。
- ・石教研2次研究協議会に向けて協議をするという体制ではなく、石狩市の現状の課題と今後の展望を見据えて課題を見つけて取り組んでいるので、次年度につながる成果がでてきている。

#### ■過去1年間の連携会議議題と冬季夏季研の内容

月日	回数	協議題
2018/8/8	夏季研	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆石狩市予算要望事項検討事項検討</li> <li>◆PFシートを用いた保護者負担調査の結果とデータの活用について</li> <li>◆『事務だより』を作ってみよう</li> <li>◆学校事務職員の今後の働き方と共同学校事務室について考えてみよう</li> </ul>
2018/7/3	第92回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆石教研二次集会レポート作成に向けて</li> <li>◆2018年度「保護者負担調査」について</li> <li>◆管外視察について</li> <li>◆実践交流 → <a href="#">予算編成の提案及び関連する事務運営計画(樽川中)</a></li> </ul>
2018/6/15	第91回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2018年度各グループの活動計画について</li> <li>◆「平成31年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について</li> <li>◆実践交流 → <a href="#">予算編成の提案及び関連する事務運営計画(花川南小)</a></li> </ul>
2018/5/11	第90回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2018年度役員体制の確認</li> <li>◆学校間連携のとりくみを始める前に・・・</li> <li>◆2018年度の具体的取り組みについて</li> <li>◆各グループ活動計画について</li> <li>◆「平成31年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について</li> </ul>
2018/3/15	第89回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2017年度版「石狩市の学校間連携」について</li> <li>◆各グループ反省集約に対する見解</li> </ul>
2018/2/23	第88回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2017年度各グループ活動反省について</li> <li>◆「夏冬休み帳」私費負担の状況ミニ調査の結果について（速報）</li> </ul>
2018/2/9	第87回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2017年度活動反省について</li> <li>◆「夏冬休み帳」私費負担の状況見込調査の実施について</li> </ul>
2017/12/9	第86回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆講座：「子どもの未来を応援する首調連合」について → <a href="#">資料の一部</a>（その他資料は会員の頁）</li> <li>◆今年度の提言について</li> <li>◆冬季研の内容について</li> <li>◆学校配分旅費実態調査（速報）について → <a href="#">資料</a>（校名入りは会員の頁）</li> </ul>
2017/11/16	第85回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実践交流 → <a href="#">予算編成の提案及び関連する事務運営計画(生振小)</a></li> <li>◆就学援助の手引きについて（別途掲載の予定）</li> <li>◆今年度の予算配分調整の状況について ◆今年度の提言について</li> <li>◆実践交流→資料（花川南中 浜益小 聚富小中）</li> </ul>

#### (2) 課題

- ・学校教育法改正を受け、「つかさどる」による今後の事務職員像をみんなで協議する必要がある。
- ・地方教育行政の組織運営に関する法の改正により、共同事務室を置くことができるようになったことで大きく変わるだろう労働環境について、考察する必要がある。（夏季研修会）
- ・事務局校に加配が継続されることが重要だが、人事異動による活動の停滞が起きないように、行政への働きかけも継続していくことが重要。
- ・組織は人事異動等による停滞は最小限にしなくてはならないものであり、継続性と発展性を維持できるよう石狩市全体でチームとして企画運営していくことが必要である。



**2018年度 保護者負担調査（PFシート）**

配分消耗品費 （実費特別配分金と埋填は除く）	¥2,128,000
学校奨励プログラム補助金	¥295,000
公費合計	¥2,423,000
私費負担学校総額	¥10,314,431
21～27を除く私費負担学校総額	¥4,188,370

**参考資料1** ルのみ入力して下さい

**公費私費総額比較**

**21～27を除く公費私費総額比較**

学校名【 石狩中学校 】

大分類	番号	項目	説明	1年	2年	3年	備考（入力したデータの補足）
授業に直接関係あるもの	1	認可補助教材（教育委員会認可）	教育委員会へ届出し認可されている補助教材 副読本、資料、ドリル、問題集、ワークブック	0	0	0	保健体育副読本、教科書準拠ワーク他
	2	補助教材（認可以外）	上記以外の補助教材（副読本・ドリル・ワーク・問題集など）	7,218	3,320	4,070	
	3	テスト（市販テスト）	C R T・N R Tなど学力を測定するためのテスト（テスト印刷用の用紙代は、9「その他」へ）	320	320	960	学力テスト（文化協会）
	4	夏・冬休み帳代	市販であり、単価が明確なもの	0	0	0	
	5	実験・実習材料代 （別表を先に記入）	実験用キット、セット、道具代などの消耗品。実習材料費など（内訳が必要な場合は下の別表に教科別で記載）	6,092	3,900	3,200	理科実習費、美術、技術、家庭科
	6	スポーツ着 履子など	入学時、必ず購入が求められる基本的なもの（ジャージ・運動靴など）	15,336	0	0	指定ジャージ上下、Tシャツ・短パン、運動靴
	7	教員金庫 （鍵輪ハーモニカなど）	必ず購入が用費が求められる基本的なもの（アルトリコーダー、習字・裁縫、絵の具セット、彫刻刀など）	2,052	0	0	1年リコーダー
	8	消耗品	画用紙・半紙・糊造紙など紙類や、フラットファイルなど	92	0	0	
	9	その他	その他、授業に直接関係あるもの	0	0	0	
授業の周辺・ 学校行事など	10	観劇・鑑賞	演劇・映画・音楽等の鑑賞代（CD・DVD等の購入は、17「視聴覚・図書費」へ）	0	0	0	
	11	見学・修学旅行	修学旅行・宿泊学習等の集金額全額（記念写真代がセットの場合も含める）・持参経費は12番で回答	2,400	13,300	66,000	学校集金額（1年校外学習¥2400、2年宿泊研修¥13300、3年見学旅行¥66000）
	12	見学・修学旅行 （クラス・班別、その他）	11番以外で、持参することになっている経費（交通費、食費、お小遣いなど）・一人当たりおおよその平均額	1,500	3,000	20,000	修学旅行はお小遣い+班別行動費
	13	交通費	修学旅行・宿泊学習等以外でのバス代（遠足・スキー学習など）で、学年全体が対象となるもの（リフト代等含む）	0	0	0	スキー学習バス+リフト1回分（バス1回は補助金）
	14	交通費（その他）	上記以外で必要となった交通費 ・一人当たりおおよその平均額	0	0	0	2年職場体験、3年上級学校訪問
	15	保健衛生費	石鹸・トイレットペーパー・消毒用アルコールなど、保健衛生を目的とするもの	0	0	0	
	16	視聴覚・図書費	視聴覚教育充実費等、図書購入等	0	0	0	
	17	クラブ・部活動費	PTA会費・後援会組織等から集金している金額を記載	2,150	2,150	2,150	部活動会費 PTAから
	18	学級費	「学級費」の名目での集金のもの	0	0	0	
	19	児童・生徒会費	児童・生徒会運営のために集金している金額（PTA会費等と一緒に集金の場合は、その金額を記載）	1,500	1,500	1,500	生徒会費
その他	20	その他	知能検査・スポーツテスト関係、各種検査（AAI・Q-Uなど）の用紙代・手数料、連絡帳など	0	0	0	
	21	生徒手帳代	生徒手帳・身分証明書（IDカード）など（生徒会費等と一緒に集金の場合は、20「児童・生徒会費」へ）	0	0	0	生徒手帳
	22	学級・学年写真	入学記念写真・行事写真など（卒業記念写真は、22「卒業記念品等」へ）	0	0	0	
	23	卒業記念品等	卒業記念写真・卒業アルバム・記念事業・同窓会費など	0	0	13,460	アルバム12960円 同窓会費500円
	24	給食費	給食費の年額（学年で違いがある場合は、基本額）	59,200	59,200	59,200	185食×320円
	25	スポーツ施設 センター掛金	市町村での負担がある場合は、「備考」にその金額を記載	460	460	460	460円市負担
	26	制服	入学時に揃える必要のある制服（夏服を含む機織類）	44,627	0	0	
	27	その他	進路は進路指導費など全体から集金の場合のみ記載。	0	0	2,000	3年進路指導費
私費負担額個人合計				142,947	87,150	173,000	
21～27を除く私費負担額個人合計				38,660	27,490	97,880	
私費負担学校総額				¥10,314,431	3,287,781	2,701,650	4,325,000
21～27を除く私費負担額総額				889,180	852,190	2,447,000	
生徒人数				23	34	25	

↑各学年の生徒数（支援学級児童生徒含む）を入力してください

大分類	1年	2年	3年	
授業に直接関係のあるもの合計	31,110	7,540	8,230	¥1,155,020
授業の周辺・学校行事など合計	7,550	19,950	89,650	¥3,033,350
その他合計	104,287	59,660	75,120	¥6,126,061

別表 ★上記5番の実験・実習材料代の教科別内訳を記載してください。

実験・実習材料代内訳	1年	2年	3年	備考（入力したデータの補足）
国語				
書写				
社会				
数学				
理科				
音楽				
美術	3,100	1,400	1,500	実習材料
保健体育				
技術	1,700	1,500	700	
家庭	900	1,000	1,000	調理、被服実習材料+消耗品費
外国語				
その他	392			名札
合計	6,092	3,900	3,200	

参考資料 2

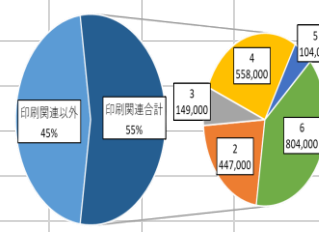
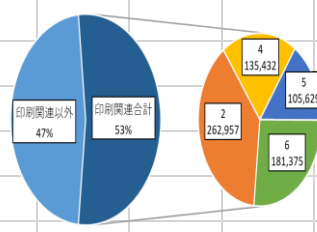
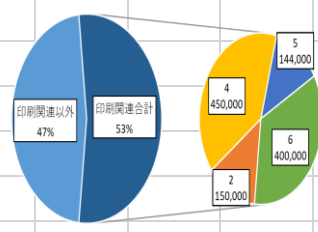
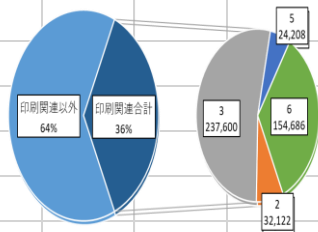
- ① 学校配当消耗品費（千円）
- ② プリンタインク・トナー使用量
- ③ レンタルプリンタ年間利用料
- ④ 印刷機インク・マスター
- ⑤ コピー機使用(カウンター) 料
- ⑥ 用紙代
- ⑦ 消耗品費配分額に対する割合（％）

# 資料1

1，市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

PC教室分も配分消耗品費で措置したものはこの調査に含めています。

	00小			00小			00小			00小		
	H28	H29		H28	H29		H28	H29		H28	H29	
1	1054千円	1232千円	↑	2087千円	2145千円	↑	1289千円	1291千円	↑	3785千円	3785千円	=
2	164,409円	32,122円	↓	155,000円	150,000円	↓	180,531円	262,957円	↑	459,000円	447,000円	↓
3	0円	237,600円	↑	0円	0円	=	0円	0円	=	0円	149,000円	↑
4	89,316円	0円	↓	500,000円	450,000円	↓	265,734円	135,432円	↓	696,000円	558,000円	↓
5	121,514円	24,208円	↓	136,000円	144,000円	↑	119,355円	105,629円	↓	137,000円	104,000円	↓
6	93,129円	154,686円	↑	493,000円	400,000円	↓	194,019円	181,375円	↓	874,000円	804,000円	↓
7	44.40%	36.41%	↓	61.52%	53.33%	↓	59.00%	53.09%	↓	57.20%	54.48%	↓



< 参考資料 3 >

資料2（中学校分）									
保護者負担経費（中学校分）									
学校名	要望金額	項目	教科	要望内容	要望内容の説明				
					学年	生徒数	一人当たり	金額(円)	備考
A中学校	778,780	学力テス	5教科	学力テスト	1年	22名	@320	7,040	
				学力テスト	2年	29名	@320	9,280	
				学力テスト	3年	22名	@960	21,120	
		ワーク	国語	ワーク	1年	22名	@1,280	28,160	
				ワーク	2年	29名	@600	17,400	
				ワーク	3年	22名	@600	13,200	
			数学	ワーク	1年	22名	@550	12,100	
				ワーク	2年	29名	@550	15,950	
				ワーク	3年	22名	@950	20,900	
			理科	ワーク	1年	22名	@630	13,860	
				ワーク	2年	29名	@630	18,270	
				ワーク	3年	22名	@630	13,860	
			社会	ワーク	1年	22名	@2,250	49,500	
				ワーク	2年	29名	@880	25,520	
				ワーク	3年	22名	@1,230	27,060	
			英語	ワーク	1年	22名	@950	20,900	
				ワーク	2年	29名	@660	19,140	
				ワーク	3年	22名	@660	14,520	
		体育	ワーク	1年	22名	@788	17,336		
			音楽	ワーク	1年	22名	@1,900	41,800	
			美術	ワーク	1年	22名	@770	16,940	
		他の教科	美術	実習費	1年	22名	@3,100	68,200	
				実習費	2年	29名	@1,400	40,600	
				実習費	3年	22名	@1,500	33,000	
			技術	実習費	1年	22名	@1,700	37,400	
				実習費	2年	29名	@1,500	43,500	
				実習費	3年	22名	@700	15,400	
			家庭	実習費	1年	22名	@900	19,800	
				実習費	2年	29名	@1,000	29,000	
				実習費	3年	22名	@1,000	22,000	

< 参考資料 4 >

整備に係る消耗品などの必要な経費等(学校図書館司書配置校で学校配分予算で不足する経費)									
* 消耗品・書架									
学校名	要望金額	品名	単価	内 訳					
A小	30,100	アメニティーBコート	16,200	R25m巻 A判 5,400×3					
		ラミネートフィルム	13,900	A4 (100枚入) 980×5 A3 (100枚入) 1800×5					
B小	25,000	レーザープリンター	10,000	学校図書館設置の物。リジipsio sp4300用。執務用として					
		補強・補修用具等	6,000	補修リテーパ、BJT、ビニタ、刷毛、その他					
		図書館室内環境整備用品	5,000	展示用イゼル、アクリル紐、貸出券用、色画用紙、その他					
		各種ハル類	2,000	プリンター用図書ハル・案内ハル					
		事務用品	2,000	ハン、ラミネートフィルム、ファイルその他					
C小	21,780	ブックスタンド	5,000						
		カーペット(3畳)	16,780	スミノエ 江戸間3畳					
D小	25,000	セルフハル3段	3,500	図書分類用					
		プリンター	9,000	掲示物等印刷用					
		プリンター用図書ハル3段	2,000	図書分類用					
		消毒用Iライト	1,800	図書整備用(よごれ落とし)					
		バックコート	5,000	図書整備用(維持補修)					
E小	0	補強・補修用具	3,700	図書整備用(維持補修)					



## &lt; 参考資料 5 &gt;

資料4				
中学校ブラスバンドに関わる経費				
	A中	楽器現有金額		4,210,985
	計画年度	計画楽器名（型番不要）	数量	合計金額（税込）
	平成31年度	ヤマハトランペット	2	378,000
		ヤマハフルート	2	280,800
		ヤマハカスタムクラリネット	2	421,200
		ヤマハユーフォニアム	1	300,000
		ヤマハトロンボーン	1	175,000
		ヤマハチューバ	1	555,000
	平成32年度	ヤマハアルトサクソフォン	2	410,400
		ヤマハバスクラリネット	1	302,400
		ヤマハテナーサクソフォン	1	250,000
		ヤマハピッコロ	1	199,800

< 参考資料 6 >

資料5													
スキー学習バス代調査(バス代総額以外H29年度実績)													
■小学校													
	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小	00小
バス代総額 (H27年度)	201,205 円	464,000 円		1,969,920 円	997,920 円	1,064,880 円	842,600 円	198,000 円	984,960 円				
バス代総額 (H28年度)		531,360 円		2,004,480 円	894,240 円	1,123,200 円	600,000 円		1,036,800 円				
バス代総額 (H29年度)		531,360 円		1,503,360 円	777,600 円	876,960 円	600,000 円		1,036,800 円				
バス代補助金総額 (1回のみ実施学年)													
私費負担額 (1回のみ実施学年)						324,162 円							
一人あたり私費負担額 (1回のみ実施学年)				530 円									
バス代補助金総額 (2回実施学年)		245,168 円		971,807 円	370,139 円	247,428 円	291,375 円		531,786 円				
私費負担額 (2回実施学年)		238,510 円		459,381 円	376,650 円	247,428 円	273,375 円		441,840 円				
一人あたり私費負担額 (2回実施学年)		1,220 円		1,060 円	1,860 円	1,566 円	1,125 円		716 円				
備考	スクールバス利用							スクールバス利用		福祉バス利用			
■中学校													
	00中	00中	00中	00中	00中	00中	00中						
バス代総額 (H27年度)				399,840 円									
バス代総額 (H28年度)				456,170 円									
バス代総額 (H29年度)				456,320 円									
バス代補助金総額 (1回のみ実施学年)													
私費負担額 (1回のみ実施学年)													
一人あたり私費負担額 (1回のみ実施学年)													
バス代補助金総額 (2回実施学年)				224,440 円									
私費負担額 (2回実施学年)				231,880 円									
一人あたり私費負担額 (2回実施学年)				1,262 円									
備考						スクールバス利用	公用バス利用						

資料 6		参考資料 5	
新学習指導要領に伴う外国語科目・外国語活動に必要な経費（小学校のみ）			
学校名	経費	経費内訳	内容
〇〇小	13,900	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラミネートフィルムA4（100枚入） 4,900（@980×5）</li> <li>・ラミネートフィルムA3（100枚入） 9,000（@1,800×5）</li> </ul>	教室掲示用等（全学年用）
〇〇小	471,523	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター 40,176</li> <li>・パソコン 100,000</li> <li>・スピーカー 4,000</li> <li>・書画カメラ 70,416</li> <li>・プロジェクター映写台 6,940</li> <li>・電子黒板 250,000</li> </ul>	30年度にEルーム(英語教室)を設置した。設置するにあたって、各教室を持ち回りで使用していたICT機器をEルームに常備して現在授業で使っている。Eルームに各機器を常備しているため、各教室で行う授業でICT機器を使えないという現状があるため要望。また、今使用している電子黒板については、職員個人の私物です。（各教室への設置を希望）
〇〇小	304,694	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板 224,694</li> <li>・ノートパソコン 80,000.</li> </ul>	事業時にすぐ使えるよう、セットした形で購入したい イングリッシュルーム用
〇〇小	40,154	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグネットシート(10枚入) 19,800（@980×10）</li> <li>・ラミネートフィルムA3(100枚入) 9,880（@1,976×5）</li> <li>・ラミネートフィルムA4(100枚入) 5,290（@1,058×5）</li> <li>・上質紙A4 135kg(500枚入) 5,184（@1,728×3）</li> </ul>	教室掲示用等
〇〇小	253,350	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超単焦点プロジェクター(電子黒板機能付) 224,640</li> <li>・外国語活動掲示ポスター 3,240</li> <li>・英語マグネットカレンダー 5,346</li> <li>・ワールドマップ 3,024</li> <li>・外国語活動教室飾り付けセット 17,100</li> </ul>	ICTで興味関心、学習効果を高める （イングリッシュルーム常設用） 英語の表現方法を学ぶ 英語表記世界地図 イングリッシュルームの雰囲気づくり(アルファベット・ワールド) ※今年度イングリッシュルーム設置のため、長机を12台購入済。今後常設用PCの設置希望 3～6年
〇〇小	11,600	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語練習帳（ペンマンシップ） 290×児童数分</li> </ul>	英語学習用（今年度私費負担）
〇〇小	22,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国旗カード 21,600</li> <li>・英語トランプ 38,880</li> <li>・四線マグネットフラッシュ 15,120</li> <li>・カラーアルファベット書き順カード 23,760</li> </ul>	全学年用 全学年用 5・6年用 5・6年用
〇〇小	96,113	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラミネートA4(1000枚) 11,113</li> <li>・ノートパソコン 60,000</li> <li>・大型絵本 25,000</li> </ul>	ピクチャーカード作成 データCD使用するための専用PC 絵本を利用した授業のため 5セット 全学年用

## 参考資料 8

資料 7

## 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費

学校名	内訳・内容
〇〇小	・デジタル教科書
〇〇小	・デジタル教科書 ・TT担当者用指導書
〇〇小	・電子黒板 ・デジタル教科書 ・タブレット ・教師用指導書（各教科不足分） ・各学年に1冊児童用教科書 ・CD、DVD等の教材
〇〇小	・加配教員分の指導書（赤刷り）
〇〇小	・デジタル教科書 ・教師用指導書（各教科不足分） ・超単焦点プロジェクター ・プログラミング教育に関する教材教具（マイクロビット@2, 180円×20個→2人に1個で2学級分 プログラミングロボット@18, 144円×6個→6グループで1学級分）
〇〇小	・デジタル教科書 ・朱書きの指導書全学級分 ・ICT機器（全学級分）
〇〇小	・算数の指導書（TT 少人数指導者用） ・算数の教科書（各1部） ・デジタル教科書（ただし電子黒板、ノートパソコンが3～6学年に整備された場合）
〇〇中	・デジタル教科書 ・加配教師用指導書
〇〇中	・デジタル教科書（各学年5教科 各1冊） ・教師用指導書（各教科不足分）
〇〇中	・デジタル教科書（全教科分） ・電子黒板（全教室） ・プロジェクター一体型ボードスタンド（全教室） ・教師用指導書（各教科不足分） ・拡大プリンター（A1サイズ）
〇〇中	・電子黒板（もしくはプロジェクター＋スクリーン） ・デジタル教科書

資料6	(円)						
	2013(H25)年度	2014(H26)年度	2015(H27)年度	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2013~2018平均
小学校児童一人あたりの配分予算	13,086	13,808	12,946	13,569	14,187	14,513	13684.9
中学校生徒一人あたりの配分予算	18,130	18,630	17,214	18,594	18,121	18,228	18152.9
小・中学校合計の一人あたりの配分予算平均	14,742	15,389	14,356	15,238	15,565	15,837	15187.8

参考資料 9

